

当法人職員の新型コロナウイルスへの感染及び今後の対応について（第5報）

1月14日検査結果、新たに在宅系職員1名及び第2報で報告しました在宅系職員と接触のあった3名について、新型コロナウイルス検査の結果、陽性であることが確認されました。

更に職員と接触のあった1名が入院先で陽性と確認されており（本日も家族1名が陽性判明）、職員3名及びその職員と接触したサービス提供先の関係者7名併せて11名の陽性者が発生したことになります。

保健所からの指摘により訪問看護ステーションを中心とするクラスター（集団発生）と認定されました。皆様には大変ご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。

引き続き、保健所の指導の下、全力をあげて当該職員と接触の機会があったと考えられる利用者様及び職員の確認、調査及び検査を実施しておりますので、今後、新しい情報が入りましたら速やかに公表して参ります。

これに伴い、当法人のサービスにつきまして、第1報に引き続き次のとおり対応させていただきますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

【特別養護老人ホーム楽寿荘】

通常通りのサービスを継続いたします。新規受入れを当面中止いたします。

【在宅サービス系】

当面の間サービス中止いたします。

利用再開日が決まりましたら改めてご連絡いたします。

※配食サービスに関しては提供を継続いたします。

感染予防を更に徹底して、感染拡大防止に職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年1月15日
社会福祉法人 楽寿会
理事長 木村守和

令和3年1月15日

理事長声明

社会福祉法人楽寿会よつから訪問看護ステーションにおける
クラスター発生と対応について

令和3年1月9日(土)に当訪問看護ステーション職員1名A、1月10日(日)に同訪問看護ステーション職員1名Bが新型コロナウイルスへの感染が判明したことを受け、これまでの間、いわき市保健所と協議しながら、陽性職員の発症日と接触調査期間(発症日の2日前から最終勤務日まで)を対象に利用者様、同席家族様、職員の濃厚接触者調査を行いました。

その後、職員Aに1月5日(火)から1月7日(木)までに訪問看護を受けた患者様と同席家族様および、職員Bに1月6日(水)から1月9日(土)までに訪問看護を受けた患者様と同席家族様を対象にPCR検査を行いました。

この結果、患者様5名と同席家族様3名の計8名の新型コロナウイルスへの感染が判明しました。

また、1月14日に訪問看護ステーションと同一フロアで勤務する当施設1名Cの新型コロナウイルスへの感染が判明しました。この職員Cは1月10日から自宅待機になっており、濃厚接触者は家族だけとなっています。

現時点では、特別養護老人ホーム楽寿荘内の入所者様および職員への施設内感染は発生しておりません。

引き続き、保健所の指導の下、当該職員と接触の機会があったと考えられる利用者様及び職員の確認、調査及び検査を実施しておりますので、今後、新しい情報が入りましたら速やかに公表して参ります。

以上、利用者およびご家族の皆様、市内の医療機関の皆様、関係者の皆様、地域の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

また、訪問看護師という医療・看護に関わる職員が感染症を在宅に持ち込み、多大の感染者を発生させてしまいましたこと、これにより全国の在宅医療に携わっておられる皆様に多大なご迷惑をおかけしますことに、心よりお詫び申し上げます。

今後は感染予防を更に徹底して、感染拡大防止に職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人楽寿会
理事長 木村守和